

福島県「県南・会津・南会津地方の市町村」で生じている
「自主的避難等に係る損害」の実例

福島県「県南、会津、南会津地方の市町村（中間指針追補による「自主的避難等に係る損害」の対象区域外）」において、放射線被ばくへの恐怖や不安、これに伴う行動の自由の制限等により、実際に生じている「自主的避難等に係る損害」の事例。

平成 23 年 12 月 22 日
福島県原子力損害対策協議会

福島県「県南・会津・南会津地方の市町村」で生じている 「自主的避難等に係る損害」の実例

1 正常な日常生活の維持・継続が相当程度阻害された事例

空間線量が毎時 $1 \mu\text{Sv}$ を超える地域があるため、子どもたちが放射線の影響を受けないよう自主的避難している。村内からの自主的避難者数は 85 名、小学生の転校者数は 17 名にのぼる。 < 県南地方 >

空間線量の測定結果から、役場から、6月2日以降、児童生徒の屋外での活動を2時間以内に制限する通知が保護者に送付された。一部の保護者は、通学の送り迎えなどを行うため、仕事にも影響をきたしている。 < 県南地方 >

放射線に対する不安から、子どものキャンプや昆虫採集ができなくなったばかりか、外出自体がままならない。 < 県南地方 >

放射線の恐怖から子どもを守るため、子どもを外で遊ばせることができない。

< 会津・南会津地方 >

幼い子どもの将来が不安で、少しでも放射線のリスクを回避するため、休日に遠方まで出かけ、子どもを遊ばせている。 < 県南地方 >

子どもを放射線被ばくから守るため、幼稚園、小中学校等の各種行事を中止した。

< 県南地方 >

小中学校とも夏休みのプール使用や雨の日の野外活動等を控えた。

< 会津・南会津地方 >

幼稚園、小学校、中学校の屋外プールは放射線汚染のため使用できず、遠方のプールまで行かざるを得なかった。 < 県南地方 >

放射線に対する不安から給食を食べない児童がいる。 < 会津・南会津地方 >

放射線の恐怖から子どもを守るため、外出のたびにシャワーを浴びさせている。

< 会津・南会津地方 >

常に避難の準備をしている。また、水道水や山菜、自家栽培野菜の摂取などを自粛している。 < 会津・南会津地方 >

原子力発電所からの距離が 70km であり、放射線被ばくの恐怖や不安がまだ消えない。妻と子どもを岩手県へ避難させ、9ヶ月間、夫婦別々に生活している。

< 県南地方 >

町内の放射線量が増加し、庭や公園で思う存分子どもを遊ばせることができなくなったため、北海道へ避難した。 < 県南地方 >

発電所の爆発についての具体的な情報が得られず、放射線が怖かったため、3月16日から約2週間避難した。 < 県南地方 >

通常なら何の心配もなく屋外でできていた活動が、事故以来、目に見えない放射線の影響により、線量の高低にかかわらず、すべてにおいて不安を抱えながら生活や活動をしなければならぬ状況になった。 <会津・南会津地方>

通学・通勤や病気療養のため、やむを得ず一日の大半を郡山市などの中通りで過ごしている町民も多い。 <会津・南会津地方>

事故当初は平常値を遙かに超える高い放射線量が記録され、相当数の自主的避難者がいる。 <会津・南会津地方>

放射線に対する不安から、放射線量を少しでも低減させるため、自宅や通学路の除染を行い、多大な時間と労力を費やした。 <県南地方>

山林の放射線量が高いため、山菜類の採取やカモ・イノシシ等の野生鳥獣の捕獲ができなくなった。 <県南地方>

毎年、狩猟時期にはイノシシを捕獲し、食するのを楽しみにしていたが、肉に放射性物質が含まれているため、狩猟を行うことができなくなった。また、その影響により、農作物等がイノシシの被害に遭っている。 <県南地方>

②① 川底の放射線量が高いため、毎年楽しみにしていたアユ等の川魚の釣りができなくなった。 <県南地方>

②② 放射線量が高く、家庭菜園を続ける気力がなくなった。 <県南地方>

②③ 平常時より放射線量が数十倍高くなったため、沢から引いている自家用水道を利用できなくなった。 <県南地方>

②④ 山菜、きのこ、野菜、川魚などがふんだんにあるにもかかわらず、食べられなくなってしまった。また、保存食（干し椎茸、切り干し大根、干し柿、凍み餅等）を作ることができなくなってしまい、「家庭の味」が食卓から消えてしまった。

<県南地方>

2 生活費が増加した事例

町内の農作物や水道の採水地から放射性物質が検出され、乳児へ母乳を与えることに懸念があったため、粉ミルクやミネラルウォーターの購入が必要となった。

< 県南地方 >

子どもと乳児がいるので、食事や飲料水のために宅配水を契約し、足りない分はミネラルウォーターを購入しており、今まで必要のなかった追加費用が月々約7,000円生じている。

< 県南地方 >

乳幼児への影響を考慮し、水道水の利用を控え、ミネラルウォーターを購入している。

< 会津・南会津地方 >

妊婦なので、放射線の影響から産地を選んで購入するなどにより、結果として比較的値段の高い食品を購入せざるを得ず食費が増加した。

< 会津・南会津地方 >

子どものクラブ活動が時間制限となり、練習不足となることから、他県へ遠征する回数が増加し、出費が増えた。

< 県南地方 >

子どものために昨年とれた米を来年分まで冷蔵して保存するため、冷蔵庫を購入し、毎月数千円の電気代がかかっている。

< 県南地方 >

自転車や徒歩での移動を控え、乗用車で通勤や通学の送り迎えをするようになったため、燃料費がかかるようになった。

< 県南地方 >

子どもを安心して遊ばせることができないため、遠くにいる親戚の家に一時的に避難したが、新幹線などの交通費や滞在中の食費など余計な経済的負担を強いられた。

< 県南地方 >

子どもや母親だけを避難させたため、週末に避難先である親戚宅に移動するための交通費がかかった。

< 県南地方 >

自主的避難先における乳幼児検診や予防接種について、費用負担を求められた。

< 会津・南会津地方 >

自分で自宅の除染を行うため、高压洗浄機や土嚢袋、ブルーシート、スコップなどを購入した。また、それに伴い、自宅の電気、水道料金の負担が増加した。

< 県南地方 >

放射線量が高いため、住宅の除染を業者に依頼しなければならなくなった。

< 県南地方 >

自宅内の放射線量の把握と予防のため、線量計やマスクを購入した。

< 県南地方 >

放射線量の不安から、個人で放射線測定器を購入した。

< 県南地方 >

家庭菜園を続けられず、買う必要がなかった野菜を購入しなければならなくなり、食費が増加した。

< 県南地方 >

米からセシウムが検出され、昨年の米を少量ずつ精米して保存期間を長持ちさせるため、家庭用精米器を購入した。

< 県南地方 >

薪ストーブを利用していたが、薪に付着した放射性物質の濃縮が怖いため、代替の燃料の確保ができず、暖房費が例年より多くかかっている。 < 県南地方 >

放射線の不安で窓を開けることができず、エアコンを購入した。 < 県南地方 >
自主的避難をし、二重生活となったため、アパート等の出費がかさんだ。(市内から県外への自主的避難者数 129 世帯、302 人) < 県南地方 >

避難したいが、仕事の都合で避難できず、休日に家族で線量の低い場所に行き、滞在しているため、交通費や宿泊費が増加した。 < 県南地方 >

- ⑳ 国際結婚した妻が母国（中国）に帰ってしまい、帰国等に係る交通費がかかった。 < 県南地方 >
- ㉑ 空間に漂っている放射線を避けるため、洗濯物を外に干さず、コインランドリーなどを利用し、乾燥機にかけるようになった。 < 県南地方 >
- ㉒ セシウム等放射性物質の吸収を阻害するため、シートをかけたたり、カリウムの追加施肥等を実施したため、水稻栽培等に通常よりも経費がかかった。 < 県南地方 >
- ㉓ 放射線量が下がらず、近隣住民から樹木伐採等を求められたため、伐採のための費用が生じた。 < 県南地方 >

3 その他の精神的苦痛等

お盆に県外に住んでいる子どもや孫が帰ってこなくなった。 < 県南地方 >
原発事故以降、子どもが鼻血をたびたび出してしまい、今後の子どもの健康について不安な日々が続いている。 < 県南地方 >

福島県ナンバーの車で栃木県に観光に行ったところ、子どもが車に近寄らないように注意した親がおり、差別的行為を受けた。 < 県南地方 >
都内で「福島ナンバーの車は放射線をまき散らすな」と車に落書きされた。

< 会津・南会津地方 >

福島県ナンバーのため、車が傷つけられた。 < 県南地方 >

ガソリン給油の際、福島県ナンバーのため給油を拒否された。 < 県南地方 >

都内でレストランの入店やガソリンの補給を断られた。 < 会津・南会津地方 >

原発事故が起こった頃、小荷物等が配達してもらえなかった。 < 県南地方 >

毎年、県産農産物を東京の親戚へ中元等で贈っていたが、今年はいらないと断られた。 < 県南地方 >

精魂込めて作った野菜を孫が放射線を気にして食べてくれない。 < 県南地方 >

地元産の農産物を身内や知人に送ることができず、通常できていた付き合いができなくなった。 < 会津・南会津地方 >

毎年、地元産の米を友人・知人に贈っていたが、今年、「放射線汚染が心配なので、県南地域で生産されたものでもいらない。」と言われた。 < 県南地方 >

毎年、親戚や知人に贈っていた米や果物、野菜を断られた。 < 会津・南会津地方 >

水源となっているダムの底質にセシウム計 6,540Bq/kg が検出され、大雨、洪水等で底質がかくはんされ、飲料水からいつ検出され、子どもたちが被ばくしてしまうか心配である。 < 県南地方 >

原発事故以降、目に見えない不安により、夜に眠れなくなり、精神的な病気になった。 < 県南地方 >

放射線汚染を考えると、美しかった地元の里山や田園風景を見ても素直に美しいと思えなくなった。 < 県南地方 >

4月上旬に都内で電車に乗っていた際、他の乗客が「福島原発は怖い。福島は日本になくてよい。」という内容の会話をしていたのが耳に入り、心を痛めた。

< 県南地方 >

風評被害により、農業で生計を立てているものとしては生活面でも精神的苦痛を感じている。 < 会津・南会津地方 >

森林の維持管理のため、集落が例年行っている雪起こしや下刈り等の作業ができず、森林荒廃への不安が生じた。 < 会津・南会津地方 >